



2023年7月3日  
株式会社 阿波銀行

社会福祉法人播陽灘の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、社会福祉法人播陽灘（理事長 田上 龍太郎、本社：兵庫県姫路市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	社会福祉法人播陽灘
所在地	兵庫県姫路市白浜町宇佐崎北一丁目 29 番地
代表者	田上 龍太郎
業種	介護・福祉事業
設立	2009年7月23日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



## 社会福祉法人 播陽灘 理事長 田上 龍太郎

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会	ワークライフ バランス	社員の豊かなライフスタイル 実現のため、 趣味や楽しみ・育児や介護と 仕事を両立しやすい環境を 目指します。	① 産前や産後・育児休業制度、 介護休暇・介護復職支援制度の整備など、 各種休暇を取得しやすい風土づくり	
			② 2024年 休暇制度周知率100% 毎年の有給取得率85%以上維持	
環境・ 社会・ 経済	法令情報 管理の徹底	業務に関わる新規法令の 適用や法令の改正について、 常に情報収集に努め、法令 順守を徹底します。	① 外部専門家との連携や最新の法令の改正 及び新規制定の情報収集に努める	
			② 2024年までに契約書・重要事項説明書・ 運営規定を時代に見合ったものに改定	
社会・ 経済	地域人材の 活用	雇用を通じた地域振興のため、 様々な地域人材の活用を 推進します。	① 障がい者人材・シニア人材の新規採用	
			② 2023年度中に障がい者人材1名採用 年一回以上シニア講師による研修実施	
環境・ 社会・ 経済	災害・事故・ 事業リスクの 未然防止	災害や事故等の有事に おいても、事業を復旧・ 継続するため、対応し得る 万全の準備を行います。	① 防災について避難確保計画やBCP計画に 沿った研修及び訓練を実施	
			② 年2回研修及び訓練実施	

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。